

摘 録

会議名 令和6年度第4回刈谷市文化財保護審議会
日 時 令和7年1月24日（金） 午後11時00分～正午
場 所 刈谷市歴史博物館講座室
出席者 委員：松原啓治、川崎みどり、鷹巣純（敬称略）
事務局：石川領子（文化振興監兼文化観光課長）、田代英徳（歴史博物館長）、鵜飼堅証（歴史博物館専門員）、永井優香子（歴史博物館学芸員）、野村啓輔（歴史博物館学芸員）

内 容

1 あいさつ

2 協議事項

（1）県内研修の振り返り

- （A委員）館内にいた小学生に感想を聞いたところ、楽しんでいる子が多かった。また、小さい子どもが遊ぶスペースもあり、博物館に入りやすい印象を受けた。
- （B委員）親子連れの来館者も多く見かけた。車など産業に関する展示もあり、間口が広い印象を受けた。また、時代の変化とともに公共施設の役割が変わっていることを感じた。博物館も本来の使命以外に要請があれば対応していく必要があると思う。
- （C委員）地元の企業などと連携して知見を集積し、展示に活かしている部分が見られた。また、授乳室がある博物館はあまり見たことがなく、このような取り組みは来館者全体を捉えることに繋がり良いと思った。

（2）文化財防火デーの振り返り

- （A委員）消防団のいくつかの分団と合同で訓練を行うのも良いと思った。地元の方たちと一緒に実際に消火器を使って訓練を行うのはとても大切なことだと思う。
- （B委員）説明を聞くだけでなく、実際に消火活動を行うということが大事だと思った。また、消防署や地元の消防団も参加することで啓発にもなり良いと思う。
- （C委員）指定文化財のある地域の消防団がいくつあるかは分からないが、1年1回の訓練では全ての消防団が文化財を対象とした防火訓練を行うのに時間がかかってしまう。消防団合同で防火訓練を行うことができれば良い

と思った。今回の訓練では、指定文化財に直接放水を行わなかったが、実際に火災が起きた時は消火活動を行う必要があるため、文化財の消火を行う方法を消防と文化財保護それぞれの視点で考えていく必要がある。また、訓練の中で消火器の位置を確認するといった具体的な内容の訓練ができると良いと思う。

（事務局）実際に火災が起きた時に動けるようにする必要がある。訓練内容については今後の課題としたい。

3 報告事項

（１）国登録有形文化財について【非公開】

（２）市指定文化財について【非公開】

4 事務連絡

（１）次回について

（事務局）令和 7 年 3 月 1 4 日（金）午後 1 時 3 0 分から、刈谷市歴史博物館で審議を行う。

以上